

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援します。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切にされた生活を提供します。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指します。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献していきます。

2 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和2年度中の入退所状況					利 用 延人員	年間平均 稼働率	年 度 末 利用者数	
		入所	退所	退所理由別						
				施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡				
100人	98人	46人	49人	0人	7人	42人	35,003人	95.89%	97人	
元年度	100人	98人	48人	46人	0人	2人	44人	35,627人	97.34%	100人

(2) 利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	4人	7人	7人	18人
女 性	2人	0人	14人	37人	26人	79人
計	2人	0人	18人	44人	33人	97人

(平均介護度4.09)

3 事業の実施状況

(1) 重度者ケアの充実

ア 利用者の身体状況の情報を共有して個々の状況に応じ、超低床ベッド、電動ハイバック機能付きベッド及びノンバックブレーキ付車いす等を活用して、自立支援と安心・安全な生活の提供に努めた。

イ 多職種間で情報共有を徹底して褥瘡予防・治療に努め、重度な褥瘡発生は無かった。

また、喀痰吸引等の研修修了者には手技確認研修を継続実施し、サービスの質の向上を図り安全な医療サービス提供に努めた。

ウ 新入所時及び定期的に歯科医師に診察を依頼し、利用者の口腔内の状況を把握して異常の早期発見及び口腔機能の維持改善に努めた。利用者の咀嚼・嚥下状況に応じてなめらか食、ペースト食を提供して食の楽しみを感じていただけるように努めている。

エ ほのぼのシステムへの入力徹底と報連相によって多職種間の情報共有を図るとともに、配置医師と24時間体制で連携を取り安全な医療的ケアの提供に努めている。

オ 多職種で連携・情報共有して、本人が安楽に過ごせるように努めるとともに、ご家族の意向に沿ったターミナルケアを提供した。また、ターミナルケア研修を開催し、職員の死生観の醸成を図った。

(2) 認知症ケアの充実

ア 全利用者対象に長谷川式簡易評価を実施し現在の認知機能状況の把握を行った。ひもときシートの活用には至らなかったが、認知症状が大きく変化した利用者についてはユニットでケース検討会を開催し対応を協議した。今後必要時にひもときシート等の各種ツールの活用を行う。

イ DVDを活用した認知症研修を開催し、全介護員が視聴して資質向上に努めた。対応が難しい利用者については、ユニットで対応の検討を行い、統一したケアの提供に努めた。

ウ 身体拘束研修、虐待防止研修及びアンガーマネジメント研修を開催し、福祉施設職員としての利用者の尊厳保持及び権利擁護に対する倫理観の向上を図った。

(3) 経営改善・基盤の確立

ア 介護、看護、栄養士協働で健康管理及び栄養管理に努めたが、入院及び退所が続き、稼働率は95.89%となった。

短期入所は、新規利用者の拡充及び長期利用者により稼働率は56.46%と前年度稼働率を上回り、目標稼働率も達成した。

イ 欠員期間は、事前面接により空床期間の短縮を図ったが、利用者の入れ替えの増加及び人数の重複により、平均欠員日数は11日となった。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

新型コロナウイルス感染症対策のため、受入実績なし

(2) ボランティアの受入実績

永江地区在宅福祉員、さざんかの会 等 (延べ10人)

5 付帯事業

(1) 短期入所事業 定員 併設6名及び空床型

年度	実人員	延人員
令和2年度	18人	1,238人
令和元年度	25人	1,127人

(2) 高齢者世話付住宅援助員派遣事業 定員 22世帯

相談等状況	訪問	電話	その他	合計
安否・健康状態の確認	1,925件	30件	5,082件	7,037件
生活支援・相談	366件	45件	0件	411件
緊急時の対応	2件	30件	0件	32件
合計	2,293件	105件	5,082件	7,480件